

愛知医科大学 解答速報

2010年度 - 数学 -

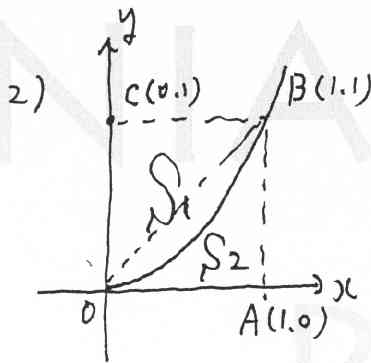
I

1) $(x^2 + \frac{2}{x} + (-1))^7$ の $(x^2)^p \cdot (\frac{2}{x})^q \cdot (-1)^r$ の係数は $\frac{7!}{p!q!r!}$

$$\begin{cases} p+q+r=7 \\ 2p-q=3 \end{cases} \quad \text{①②を足すと} \quad 3p+r=10$$

これをみたす 0 以上の整数の組は $(p, q, r) = (2, 1, 4), (3, 3, 1)$

よって、係数は、 $2! \cdot (-1)^4 \cdot \frac{7!}{2!4!} + 2^3 \cdot (-1) \cdot \frac{7!}{3!3!} = 210 - 1120 = -910$



左図では明らかに $S_1 > S_2$ なること。

右図のとき。

$S_1 = \frac{1}{2}$ となる a を求める。

y 軸方向に積分すると。

$$S_1 = \int_0^1 x \, dy$$

$$= \int_0^1 \frac{1}{\sqrt{a}} y^{\frac{1}{2}} \, dy$$

$$= \frac{1}{\sqrt{a}} \left[\frac{2}{3} y^{\frac{3}{2}} \right]_0^1 = \frac{2}{3} \cdot \frac{1}{\sqrt{a}}$$

($\because y = ax^2 + y, x > 0 \therefore$
 $x = \frac{1}{\sqrt{a}} \sqrt{y}$)

これが $\frac{1}{2}$ なること。 $\frac{2}{3} \cdot \frac{1}{\sqrt{a}} = \frac{1}{2} \quad \therefore \sqrt{a} = \frac{4}{3}$

よって $a = \frac{16}{9}$ //

医学部専門予備校

リニア

〒530-0012
 大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル8F
 TEL. 06-6372-1131
 FAX. 06-6372-1132

- ・ 無料体験授業も実施しております。
- ・ 質問相談等ございましたら何なりとお問い合わせください。

愛知医科大学 解答速報

2010年度 - 数学 -

II. 1) $\vec{AB} = \vec{b}$, $\vec{AC} = \vec{c}$ とする。

$|\vec{b}| = 4$, $|\vec{c}| = 5$

$$\begin{aligned} \vec{AC} \cdot \vec{BC} &= \vec{c} \cdot (\vec{c} - \vec{b}) \\ &= |\vec{c}|^2 - \vec{b} \cdot \vec{c} \\ &= 25 - \vec{b} \cdot \vec{c} \end{aligned}$$

よって 29 となるので: $\vec{b} \cdot \vec{c} = -4$

$$\begin{aligned} |\vec{AB} - \vec{AC}|^2 &= |\vec{b}|^2 + |\vec{c}|^2 - 2\vec{b} \cdot \vec{c} \\ &= 16 + 25 + 8 = 49 \end{aligned}$$

$\therefore |\vec{AB} - \vec{AC}| = 7 //$

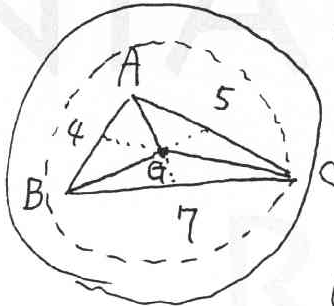
2) $\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC} = 3 \cdot \frac{\vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}}{3} = 3\vec{PG}$

$\therefore |3\vec{PG}| \leq a$

$\therefore |\vec{PG}| \leq \frac{a}{3}$

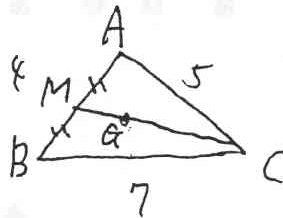
よって P は重心 G を中心とした半径 $\frac{a}{3}$ の円内

中心 G . 半径 $\frac{a}{3}$ の円内に $\triangle ABC$ が入ればよい。



G から三頂点までの最大の距離は CG である。

もう少し
几何学的な
計算でいいかな



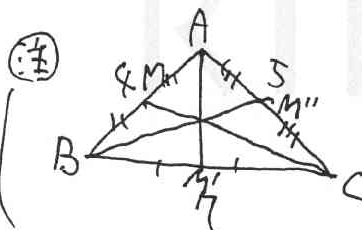
$CA^2 + CB^2 = 2(CM^2 + AM^2)$ (\because 中線定理)

$25 + 49 = 2(CM^2 + 4)$

$\therefore CM = \sqrt{33}$

$CG : GM = 2 : 1$ より $CG = \frac{2}{3}\sqrt{33}$

よって $\frac{a}{3} \geq \frac{2}{3}\sqrt{33}$ なるので $a \geq 2\sqrt{33} //$



$AM'^2 = \frac{33}{4}$

$BM''^2 = \frac{105}{4}$ (中線定理で計算(T))

$CM^2 = 33 = \frac{132}{4}$

愛知医科大学 解答速報

2010年度 - 数学 -

III. (1) n 回目の操作でぬりつぶす正方形の一辺は $(\frac{1}{3})^n$
 個数は 8^{n-1} 個。
 面積は $(\frac{1}{3})^{2n} \cdot 8^{n-1} = \frac{1}{8} \cdot (\frac{8}{9})^n$

$$(2) \sum_{k=1}^n \frac{1}{8} \cdot (\frac{8}{9})^k = \frac{1}{8} \cdot \frac{\frac{8}{9} \{1 - (\frac{8}{9})^n\}}{1 - \frac{8}{9}} = 1 - (\frac{8}{9})^n$$

$$(3) 1 - (\frac{8}{9})^n \geq 0.99$$

$$\Leftrightarrow 10^{-2} \geq (\frac{8}{9})^n$$

$$\text{両辺の対数をとると } -2 \geq n \log_{10} \frac{8}{9}$$

$$\Leftrightarrow -2 \geq n (3 \log_{10} 2 - 2 \log_{10} 3)$$

$$0.3010 \times 3 - 0.4771 \times 2$$

$$n \geq \frac{2}{0.0512} = 39.06 \dots$$

これを満たす最小の自然数は $n = \underline{\underline{40}}$

講評

I, II (1), III, IV (1) は取りたいところ。

III は正三角形のパターンで、日大、埼玉大、立命館大、金沢大に類題がある。

(シェルピンスキーのギョースクット)

ヤマトコトが あればうり。

II のラストは、題意をよく取って!

確率の (2) の証明は、できなくても全く問題なし。

全体で: 正規ライン7割

補欠合格ライン6割程度か。

医学部専門予備校

リニア

〒530-0012

大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル8F

TEL. 06-6372-1131

FAX. 06-6372-1132

・無料体験授業も実施しております。

・質問相談等ございましたら何なりとお問い合わせ

ください。

愛知医科大学 解答速報

2010年度 - 数学 -

Ⅳ (1) Aから取りはじめるとする。(勝者が決まっても最後まで取り切るとしても同じなので)

Bに7つ $\frac{R1}{W1}$ とはじめる。 $\frac{2C1+3C1}{5C2} = \frac{3}{5} //$

(2) (1)と同様、Aから取りはじめるとする。

白玉が n 個とする。(全部で $n+2$ 個)

・ n が偶数のとき、A、B 共に $\frac{n}{2} + 1$ 個ずつの玉を取ることにする。

$\begin{pmatrix} A & 0 & 0 & 0 & \dots & 0 \\ B & 0 & 0 & 0 & \dots & 0 \end{pmatrix}$ 引き分けとなるのは、A、B 共に R が1つずつ。

(袖様か) R_1, R_2 と1つ、 $n+2$ 行所の玉の 2 つ $\in R$ とするとしたら。

$$\frac{\frac{n}{2} + 1}{n+2} \times \frac{\frac{n}{2} + 1}{n+1} \times 2 = \frac{1}{2} \cdot \frac{n+2}{n+1} = \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{n+1}\right) > \frac{1}{2}$$

(R₁がA) (R₂がB) 逆も同じ

・ n が奇数のとき、 $\begin{cases} Aは \frac{n}{2} + \frac{3}{2} 個 \\ Bは \frac{n}{2} + \frac{1}{2} 個 \end{cases}$ 同様に考える。

$$\frac{\frac{n}{2} + \frac{3}{2}}{n+2} \times \frac{\frac{n}{2} + \frac{1}{2}}{n+1} \times 2 = \frac{1}{2} \cdot \frac{n+3}{n+2} = \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{n+2}\right) > \frac{1}{2}$$

(1211) やや難